

**浴室改装工事**

Before After

**T 様邸**

旧ユニットバスは、天井が低く圧迫感がありましたが天井も高くなり、広く感じられます。浴槽の深さも浅くなったので安全になり、足を伸ばして入浴できるようになりました。とお声をいただきました。

**キッチン・浴槽改装工事**

Before After

**H 様邸**

子供たちの身長も伸びやうとキッチンの高さを私に合わせられました。タイルのお風呂の掃除が大変でしたが掃除も楽になり温かいです！消費税が上がる前にリフォームしたかった！とお声をいただきました。ご希望のお掃除・キッチンの高さ・収納バッチリです！

**流し・トイレ取替工事**

Before After

**S 会社様**

工場の手洗いのシンクが深くなり水ハネも少なくなりました。

Before After

トイレの取替と共にクロスも張替えもされ雰囲気が変わりました。

**シャッター取替工事**

Before After

**M 様邸**

**トイレ取替工事**

Before After

**O 様邸**

**外壁補修工事**

Before After

**Y 様邸**

ベランダ下の外壁ひび割れの修繕工事を施工させていただきました。雨漏りにもなりますので早めの修繕をお勧めします。

**水廻り改装工事**

Before After

**T 様邸**

収納について、色々ご要望をいただき工夫をいたしました。洗面所・洗濯機の上のスペースには高さ調節が出来る棚を設置しトイレは収納付きのリフォームを選びました。白を基調とした清潔感のある明るい空間に。お風呂はシックな色で落ち着いた雰囲気となりました。リフォームと共に収納スペースを上手に設けたアイディア満載のリフォームですね！

**排水管高圧洗浄工事**

Before After

**N 様邸**

防臭！ 防虫！  
固まってしまった油や流れ込んでしまった異物によるつまり...詰まってからは大変です！詰まる前に定期的な施工をお勧めします！

# ウエスイ 通信

2019 2月号  
vol. 44  
発行所：ウエスイ設備  
姫路市網干区興浜 1344-4  
平成 31 年 2 月 1 日発行



皆様にはますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。立春とは名ばかりでまだまだ寒い日が続きますが寒い中にも2月は梅が咲き、春が予感されます。鬼を追い、福を呼び込む節分の行事で冬の寒い冬を乗り切り春を迎えましょう。

2月

**節分と二十四節気**

「節分」は「季節を分ける」日という意味です。1年を24に区分した古い中国の暦法「二十四節気」では春夏秋冬の四季に節分があり、立春、立夏、立秋、立冬の前日を節分としていました。2月3、4日の頃、立春の前日の節分が二十四節気では年の初めにあたり、農作業の開始とも合うため重視されました。現在では節分を指します。



**除災招福の行事**

旧暦では立春が正月、節分が大晦日にあたります。もともと節分は年越しの日として、新年を迎えるために除災招福の行事が行われてきました。節分の豆まきは中国から渡来し宮中で行われていた鬼払いの「追儺(ツイナ)」の儀式と、寺社の邪気払いの「豆打ち」の儀式が融合し今の形になったと言われています。

**豆まきの由来**

「豆まき」では、豆の生命力で災いの象徴である鬼を退治し、福を招きます。一家の主または年男(その年の干支生まれ)が「鬼は外、福は内」と唱えて出入口や部屋に煎り大豆をまきます。「魔目(マメ:鬼の目)」にめがけて投げると、「魔滅(マメ:鬼の退散)」に通じると言われています。節分の豆は福豆と言われ年齢より1個多く食べて1年の無病息災を願います。

**立春**

**冬から春への変り目**

2月4日頃の「立春」から、気温は低いものの、太陽が高くなり光は明るさを増します。立春は二十四節気の1番目で、「春立つ日」、暦では春の始まりの日です。さまざまな農耕行事は立春を起点に考えられており、立春から数えて88日目、「八十八夜」は茶摘みの時期となります。また、210日目を「二百十日」といい、台風がよく来る時期とされています。

**建国記念の日**

日本書紀に神武天皇即位と記された日である紀元前660年1月1日を新暦に換算した2月11日が「建国記念の日」です。現在の建国記念の日は建国をしのび「国を愛する心を養う」という趣旨で、1967年(昭和42年)より制定されたものです。

建国記念の日

**厄落とし**

一生のうちで災難が起こりやすいとされる年齢を厄年といい男性は25、42、61歳、女性は19、33、37歳です。特に男の42歳、女の33歳は大厄と言います。厄年にあたった者は「厄落とし」をして厄災を防ぎます。厄落としの行事は、地方によって様々ですが、節分の日に神社やお寺へ参拝して「厄払い」をしてもらうのが一般的です。